

ロータリー財団100周年プロジェクト
**(一社)里山こども未来会議が運営する発達障害児支援施設へ
 ラダーウォール(感覚統合リハビリ機具)の寄贈
 及び施設内の大木の剪定作業他環境整備 報告書
 プロジェクト番号10**

庄原ロータリークラブ
 ロータリー財団委員会
 社会奉仕委員会

プロジェクトの概要

2016年9月16日、子育て支援施設へラダーウォール(縄梯子遊具)を寄贈し園庭の大木の剪定を行った。当日は、法人の理事長はじめ6名の理事また7名の社員18名のクラブメンバーで、高所作業車を使用し大木の剪定終了後、ラダーウォールの贈呈式を行った。贈呈式は、庄原市担当課より、中原課長 神田係長の出席をいただき盛大に行われた。



ラダーウォールで遊ぶ子供たち

子どもたちの未来のために

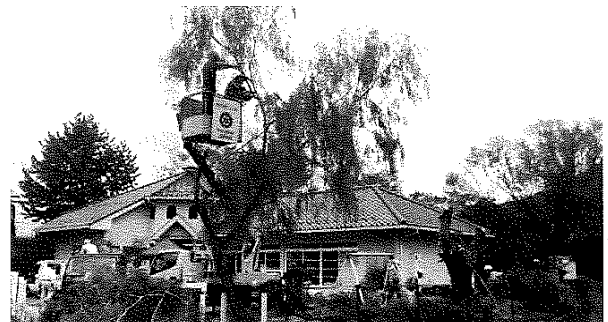
庄原ロータリークラブ奉仕プロジェクト・9/15

No.4

庄原ロータリークラブは、ロータリー財団100周年記念プロジェクトの一環で、田川子育て支援施設の園庭の環境整備と縄ばしご型の遊具・ラダーウォールの贈呈をしました。ラダーウォールは、子どもたちがつかまったりして遊ぶうちに、感覚に刺激を与えて発達を促すのに役立つといわれています。

園庭の環境整備では、施設を運営する一般社団法人里山こども未来会議のメンバーも加わり、高所作業車での樹木の剪定など、総勢約30人で行いました。

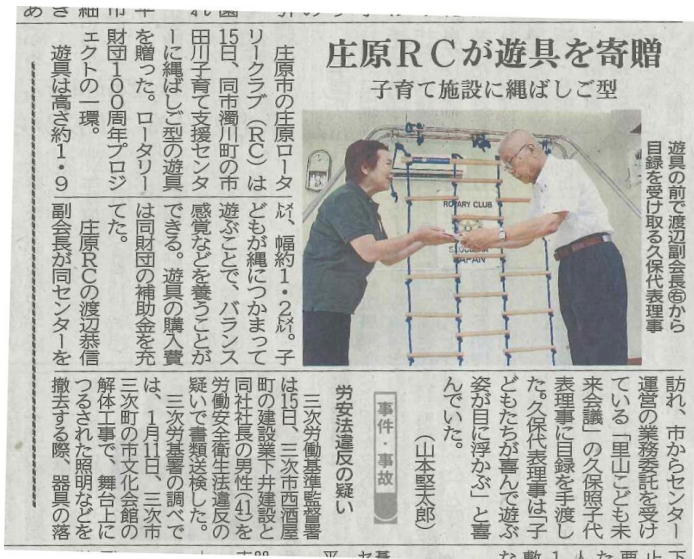
ラダーウォールの贈呈式で、同法人の久保照子代表理事は「全ての子どもたちに光を当てる事業を共に果たしていこうという勇気をももらった」と感謝を述べました。



▲樹木の剪定など環境整備の様子

庄原市広報誌に掲載

なにより、子供たちの未来のためにロータリークラブが汗をながし、地域に存在を確認いただいたことが大きな成果であった。また、子供たちのために活動できたことへの喜びを頂いたプロジェクトとなった。その後、庄原市当局もこどもの総合センターなる事業計画を発表している。



中国新聞社掲載

